

造血幹細胞移植患者の心理社会的要因およびそれが在院日数へ与える影響の解析

筑波大学附属病院血液内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。本研究は筑波大学附属病院の倫理委員会の審査・承認を経て実施されます。本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究対象

当院血液内科で血液腫瘍性疾患に対し 2011 年 1 月 1 日から 2017 年 10 月 31 までに同種造血幹細胞移植を受けた患者さんのうち、移植前にアンケート調査、HADS(Hospital Anxiety and Depression Scale)および日本語版 WCCL コーピングスケールを実施した方。

② 研究の意義・目的・方法

造血幹細胞移植では、治療に加えて隔離、感染症の危険性や移植片対宿主病など身体面の負荷に伴い、心理面でもさまざまな負担が生じることが知られています。当院では、造血幹細胞移植を受ける患者さんに対し、移植チームの一員として移植開始前に臨床心理士による精神心理的スクリーニングを実施し、患者さんの移植に関する心配事や支援体制等に加え、抑うつや不安の程度、ストレスへの対処方法などを教えていただいています。

本研究を通じて、心理社会的要因が在院日数に与える影響が明らかになった場合には、心理社会的なサポートを充実させることにより、治療期間の短縮につながることを期待されると考え、今回は心理社会的要因およびそれが在院日数へ与える影響について解析することとしました。

③ 研究体制

研究機関名：筑波大学附属病院血液内科/臨床心理部

※当院単独の研究であり第三者提供はありません

研究責任者および情報の管理責任者：横山 泰久

④ 研究に使用する情報および使用者

氏名や住所などの個人情報削除した上で、上述の研究に必要な情報のみを抽出し、解析を行います。情報の利用者は筑波大学附属病院血液内科および臨床心理部です。解析は 2019 年 12 月 31 日までに終了し、データは 2029 年 12 月 31 日まで保管し、その後破棄します。研究成果は学会や学術雑誌、インターネット等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

以下の情報を利用します。

● 基本情報

性別、移植時の年齢、移植時からの生存期間、死亡の場合はその原因

● 疾患に関する情報

病名、移植時の病期、再発の有無と確認日

● 精神心理的スクリーニングに関する情報

移植前アンケート、HADS(Hospital Anxiety and Depression Scale)、日本語版 WCCL コーピングスケール

● 移植に関する情報

移植日、退院日、移植片の種類、HLA、移植前処置の種類、併用薬剤、精神症状発現の有無とその内容、急性 GVHD の重症度と発症日および治療、慢性 GVHD の重症度と発症日および治療内容、その他の有害事象の発現の有無とその内容、治療関連死亡の有無と死亡日までの期間

⑤ 保有する個人情報の開示手続

個人情報の開示、他ご不明な点については、下記へご連絡下さい。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

血液内科 横山 泰久

電話：029-853-3127

FAX：029-853-8079

対応可能時間：平日 9：00～17：00